

## 令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	御田町文化研究プロジェクト
事業主体 (連絡先)	御田町文化研究会
事業区分	教育、文化の振興 / 伝統文化の保存・伝承事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,050,000円 (うち支援金: 1,640,000円)

### 事業内容

次世代の文化の担い手を育成すべく、「食」「建築」「芸術」の3つのテーマで様々な取り組みを行なった。

【建築】 開催日時: <第1回町歩きツアー>2024年9月7日 / <第2回町歩きツアー>2025年2月1日  
信州大学と一緒に町内の建築の価値調査を実施。また、町内の建築士と一緒に町の古い建物を散策する町歩きツアーを開催。さらに、古い建物の活用について考えるトークセッションも開催。

【食】 開催日時: <第1回おごっそレシピ>2024年5月29日 / <第2回おごっそレシピ>2024年7月17日  
諏訪を拠点に活動する日本最古のアマチュア交響楽団「諏訪交響楽団」をお招きして演奏会を開催。さらに、諏訪エリアに根付く音楽文化について語るトークセッションも開催。

【芸術】 開催日時: <音楽と下諏訪>2024年10月19日 / <松澤宥展>2025年3月7日~3月16日  
下諏訪町が誇る世界的アーティスト「松澤宥」の展覧会を開催。さらに、下諏訪町に根付く芸術文化について語るトークセッションも開催。

### 事業効果

#### ① リーチ数

【イベント・ワークショップ集客】 目標 300人 / 実績 800人

【メディア発信】 目標 3,000PV / 実績 8,717PV

【冊子配布】 目標 200部 / 実績 100部

#### ② アクションプランへの落とし込み

【仕組み作り】

・次年度以降も信州大学と連携して調査研究を進めていくことが決定。御田町エリア以外にも対象範囲を拡大して、町に現存する古い建物のリスト化を推進していく。

・下諏訪町役場の産業振興課、文化遺産活用係、都市整備係の3つの部署と横断連携し、古いものを残していくための制度検討を開始。

【コンテンツ作り】

・食、芸術、建築に携わる町内事業者を巻き込み、自分の町の歴史や文化に対する理解を深めてもらい、仕事に生かす機会を提供することができた。

### 【目標・ねらい】

- できるだけ多くの人に学びや発見の場を提供し、自分たちの町の価値を正しく認識してもらおう。
- 町の歴史・文化を受け継いでいくため、具体的なアクションプランに落とし込む。

### ※自己評価【A】

- ・想定以上に人にイベントに参加いただき、メディア発信なども含めて多くの人から賛同を得ることができた。
- ・年間の活動を通して様々な繋がりが生まれ、自分たちだけでなく町民や町の事業者が主体的に動き出す流れが生まれ始めた。
- ・次年度からはただイベントを開催するだけでなく、具体的な仕組み作りやコンテンツ作りに取り組める体制が整った。

### 今後の取り組み

・初年度は町内の御田町に重点を置いて活動してきたが、この活動の輪を地域全体に広げていくことが必要であるため、次年度は様々な団体・事業者と連携しながら、活動エリアをさらに拡大していく。

・初年度に得たつながりを活かし、次年度は下諏訪町役場と連携しながら、町の歴史や文化を受け継いでいくための具体的な制度検討をスタートさせる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

活動写真

<建築>



<食>



<芸術 (音楽) >



<芸術 (アート) >

